



*Beginning black 7*

*for adult only*

事務所の社長が変わってから  
売れなかった私のアイドル  
人生も動き始めた


帰りたい…

スケジュール表は  
日に日に埋まっていく


帰りたい…

同時に仕事へのストレスも  
溜まっていく家に帰りたい

帰りたい…



社長が変わってから  
事務所が管理している  
マンションへ引っ越した



玄関の扉を開けると身の丈に合わない部屋の広さが  
私を出迎えるしかしこの開放的な空間も体を流れ落ちる  
シャワーも私の中からストレスを解き放ってはくれない。



私を唯一解放してくれるもの…



このラバースーツだけ…

んおおおおお

全身に張りついて締め上げる感覚は私を快楽の絶頂へと導いてくれる



イグーイグー  
イグー！

私の中に泥のように詰まったストレスは獣のような咆哮と一緒に吐き出される

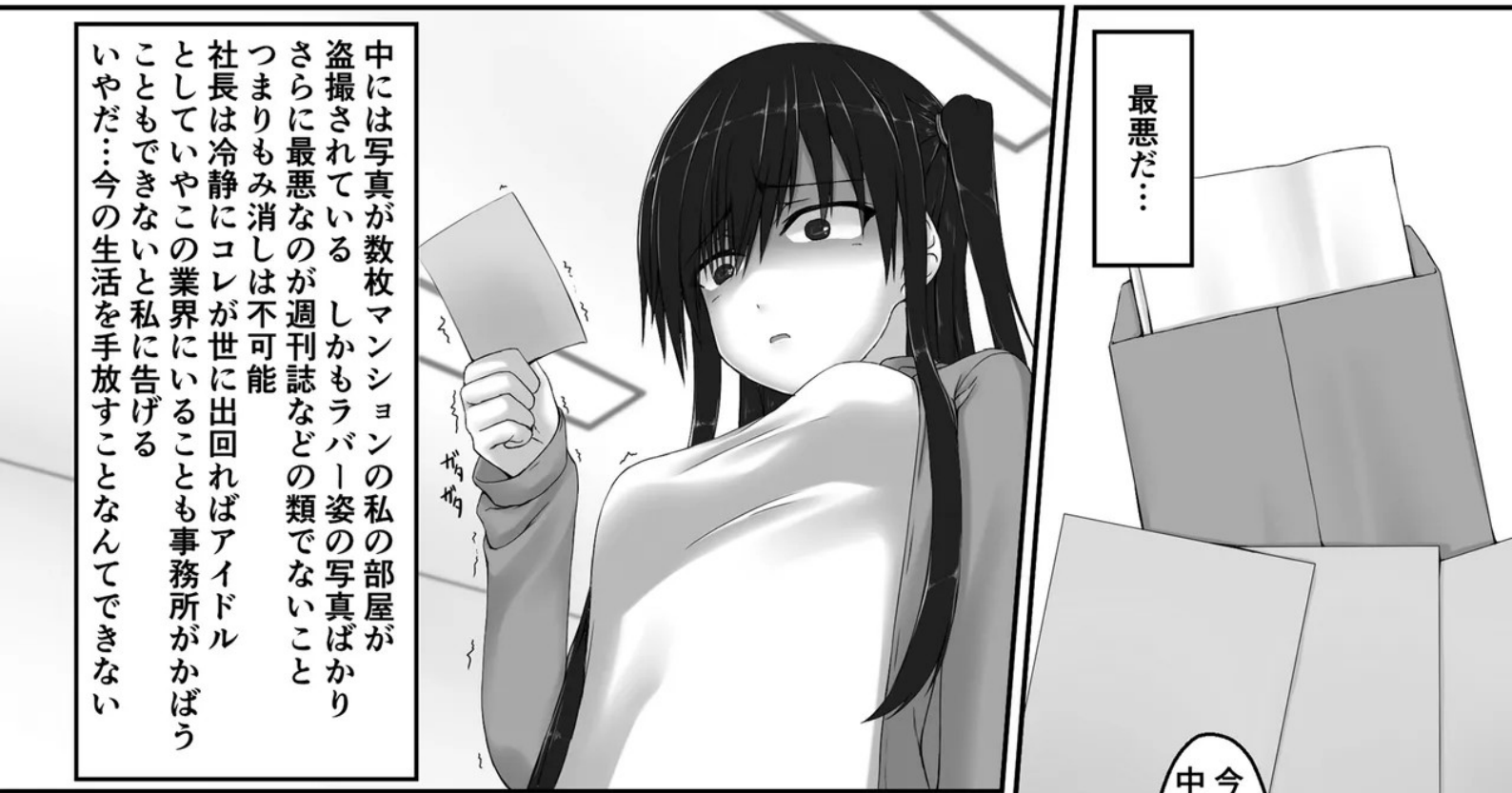


失礼します…

ガキ

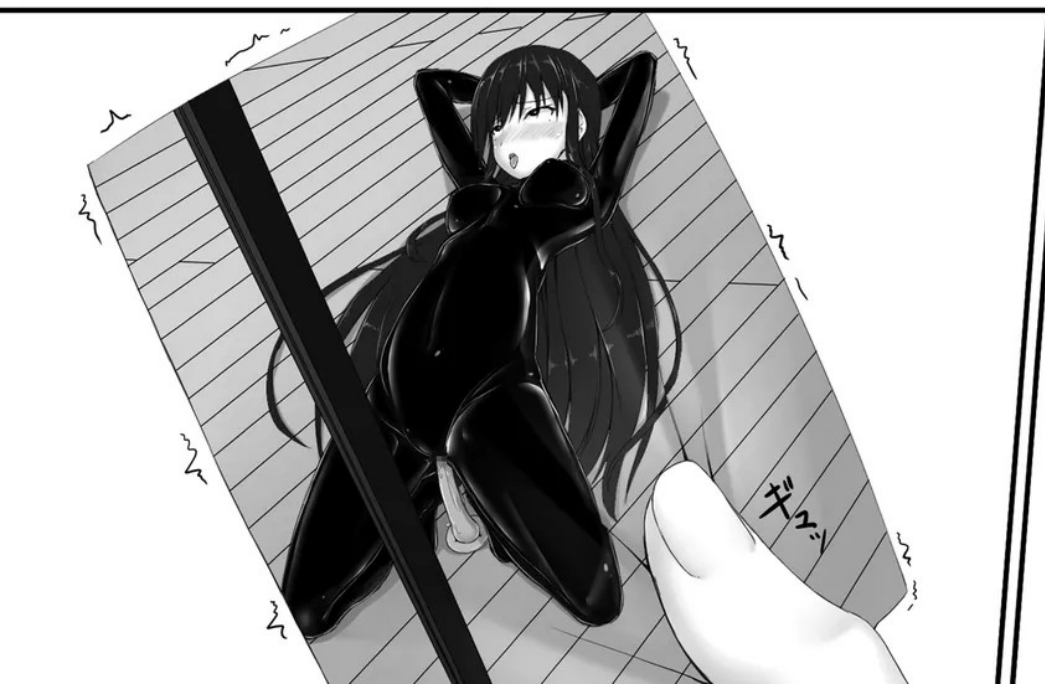
あの…  
話って何でしょうか…

悪いわね仕事終わりに  
寄ってもらっちゃって



最悪だ…

中には写真が数枚マンションの私の部屋が  
盗撮されている しかもラバー姿の写真ばかり  
さらに最悪なのが週刊誌などの類でないこと  
つまりもみ消しは不可能  
社長は冷静にコレが世に出ればアイドル  
としていやこの業界にいることも事務所がかばう  
こともできないと私に告げる  
いやだ…今の生活を手放すことなんてできない



今日こんなものが事務所に届いたわ  
中身を見たのは私だけよ

ギョ

頭が真っ白だ……

なにも考えられないとなりに  
座っている社長は  
いつもと同じように冷静だ  
どこへ行くのだろう……

# 研究所

B1

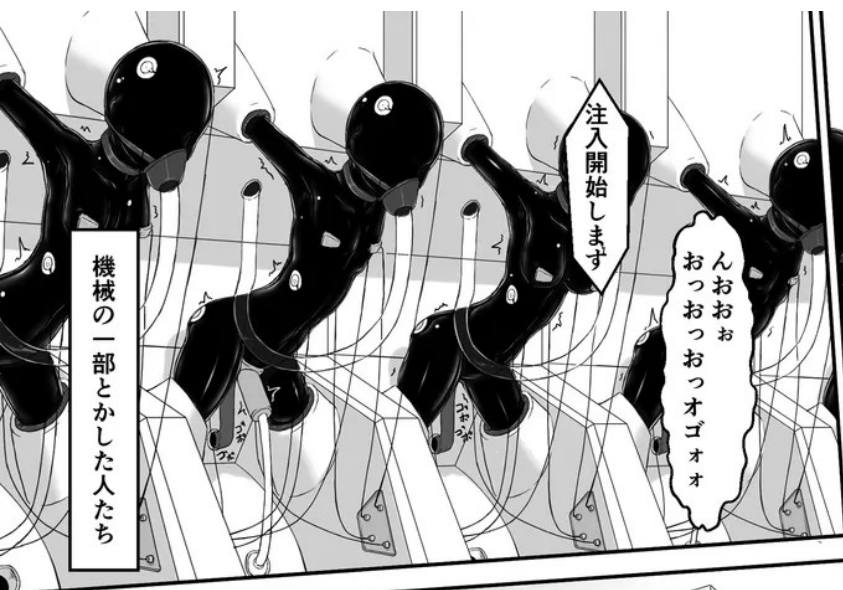
B2

B3

B4

私はなにも聞かずただ黙って社長の後ろをついて行く

社長は「ついてきて」としか言わなかった……  
全てを失う私はなにも聞かず社長についていく……



機械の一部とかした人たち

注入開始します

んおおお  
おっおっおっおっオゴオオ



んぎいいい!

同じ格好で吊るされ絶頂する人たち



もはや生きているかわからない人たち



白く大きな自動ドアが開く  
その光景の情報が多さに空っぽのだった  
頭がくちやくちやくになる

もうわかってると思うけど  
あの写真は私が用意した物

あなたにはここで実験体として  
生きてもらいたいの…

あ…あの…

ふふっもう答えは決まっているみたいね

お願いがあります。

なに？



ん……ん……

確か……  
引退発表をしてラストライブをして……  
それから……

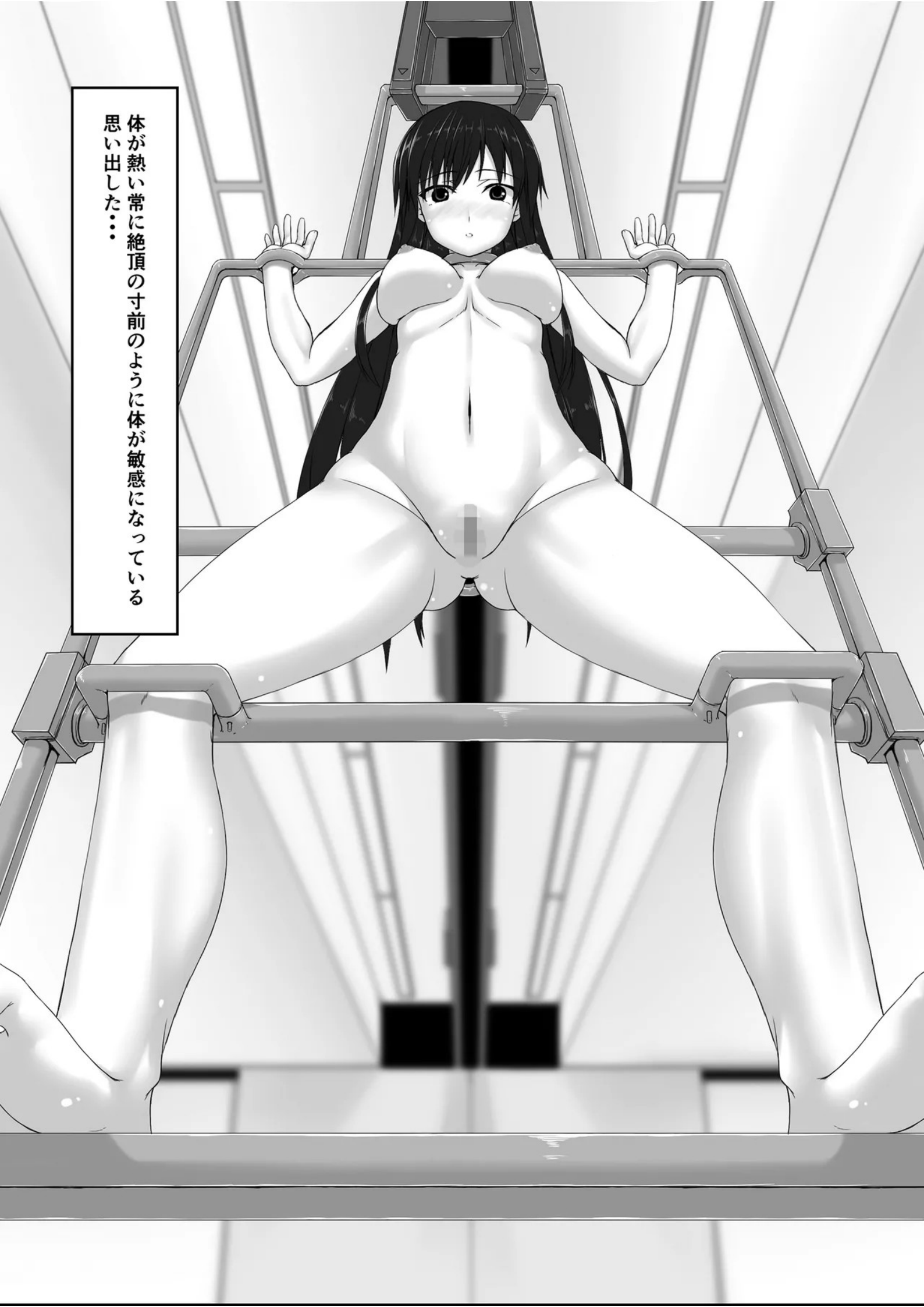
頭が回らない……

ん……ん……

ふふっ  
ちゃんと前は使っていないみたいね

ホー

体が熱い常に絶頂の寸前のように体が敏感になっている  
思い出した...



金属レールがモノを運ぶ音

ガッ、

ガッ、

くぐもった助けを求める声

んじおおお

んぐい

レールからの伸びるフックを  
肛門へ挿入されつま先立ちになる  
高さまで引き上げられ歩かされる

むふうむふう

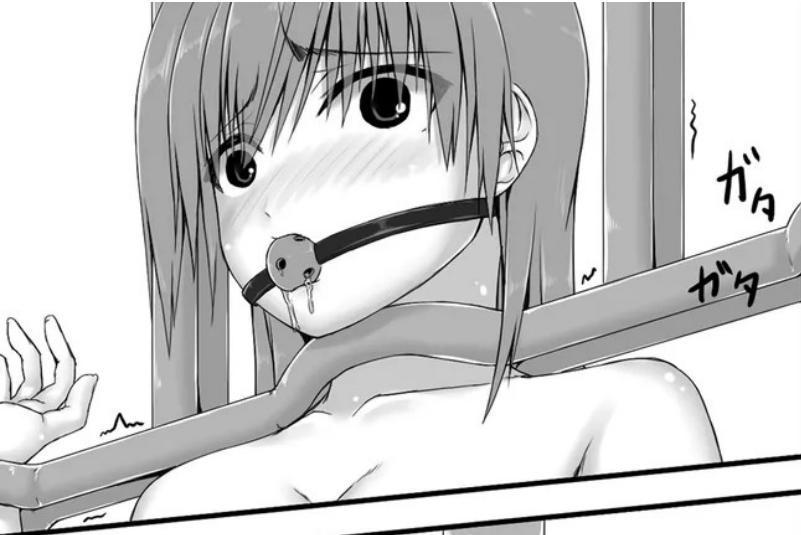
んほおおお

んんんんっ

おっおっおっ

抜けないフックに  
抗えず悶えながら  
前へと歩く

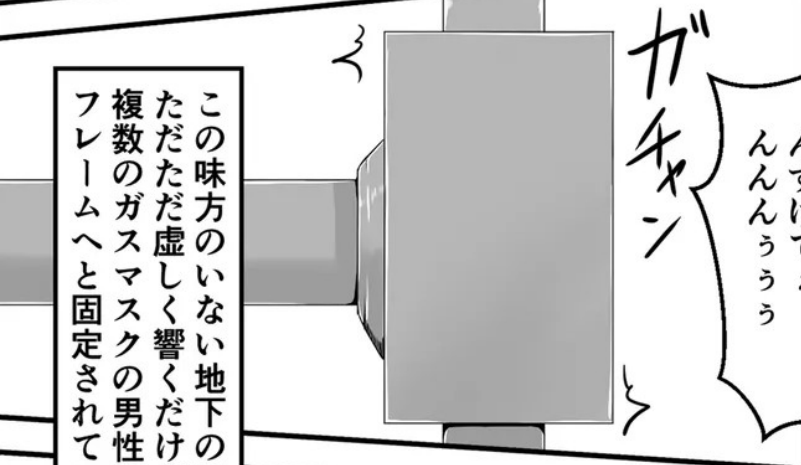




ガッ  
ガッ



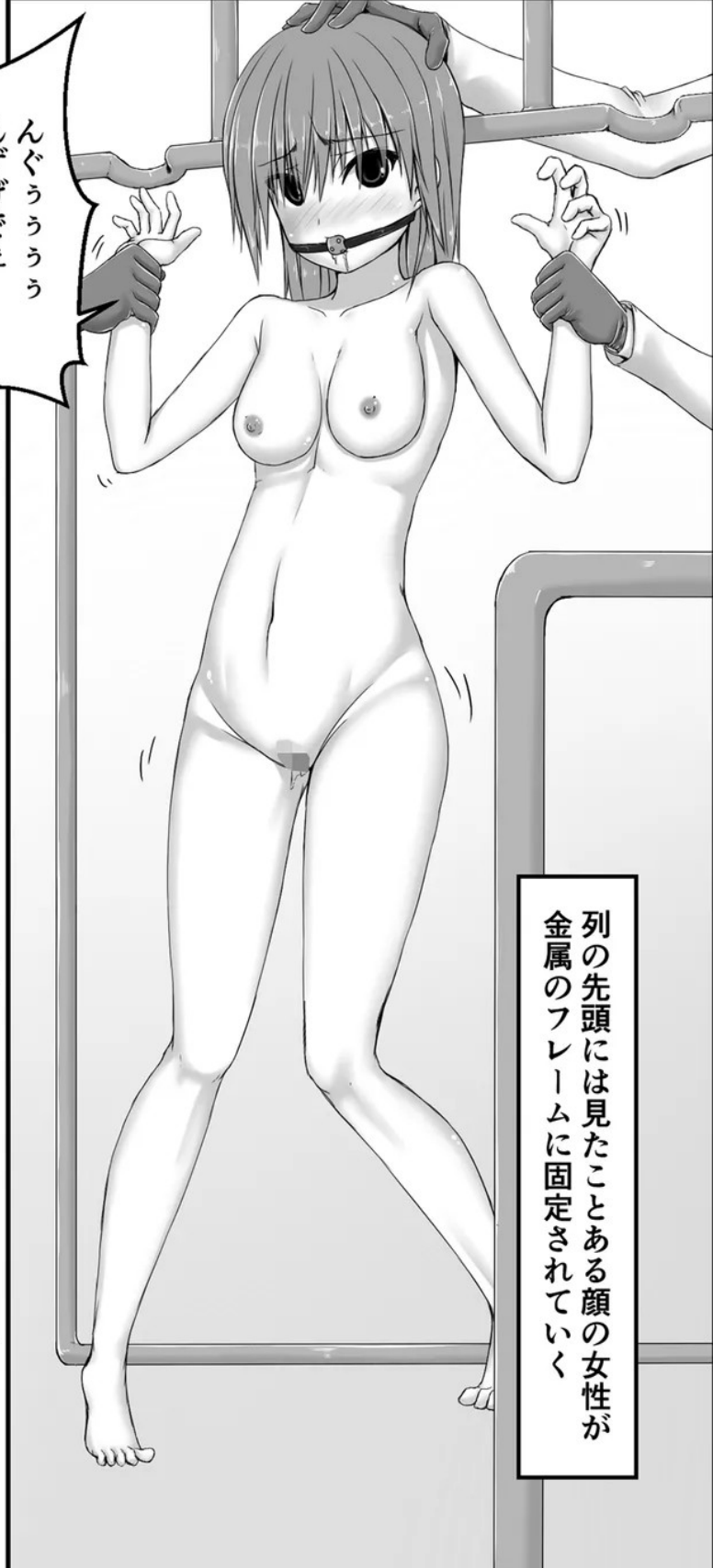
悶絶しながら歩きついた  
先で列ができていた



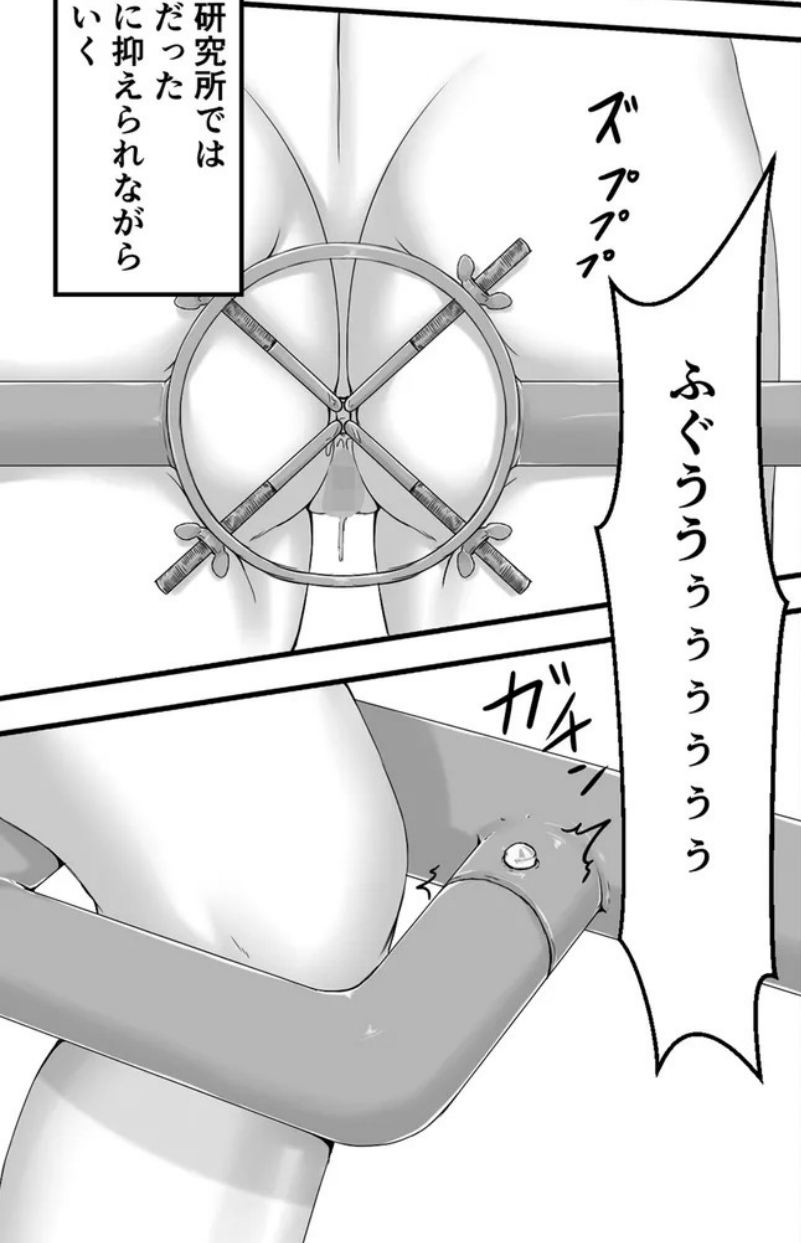
ガ  
キャン

んぐうううう  
んずげでえ  
んんんううう

この味方のいない地下の研究所では  
ただただ虚しく響くだけだった  
複数のガスマスクの男性に抑えられながら  
フレームへと固定されていく



列の先頭には見たことある顔の女性が  
金属のフレームに固定されていく



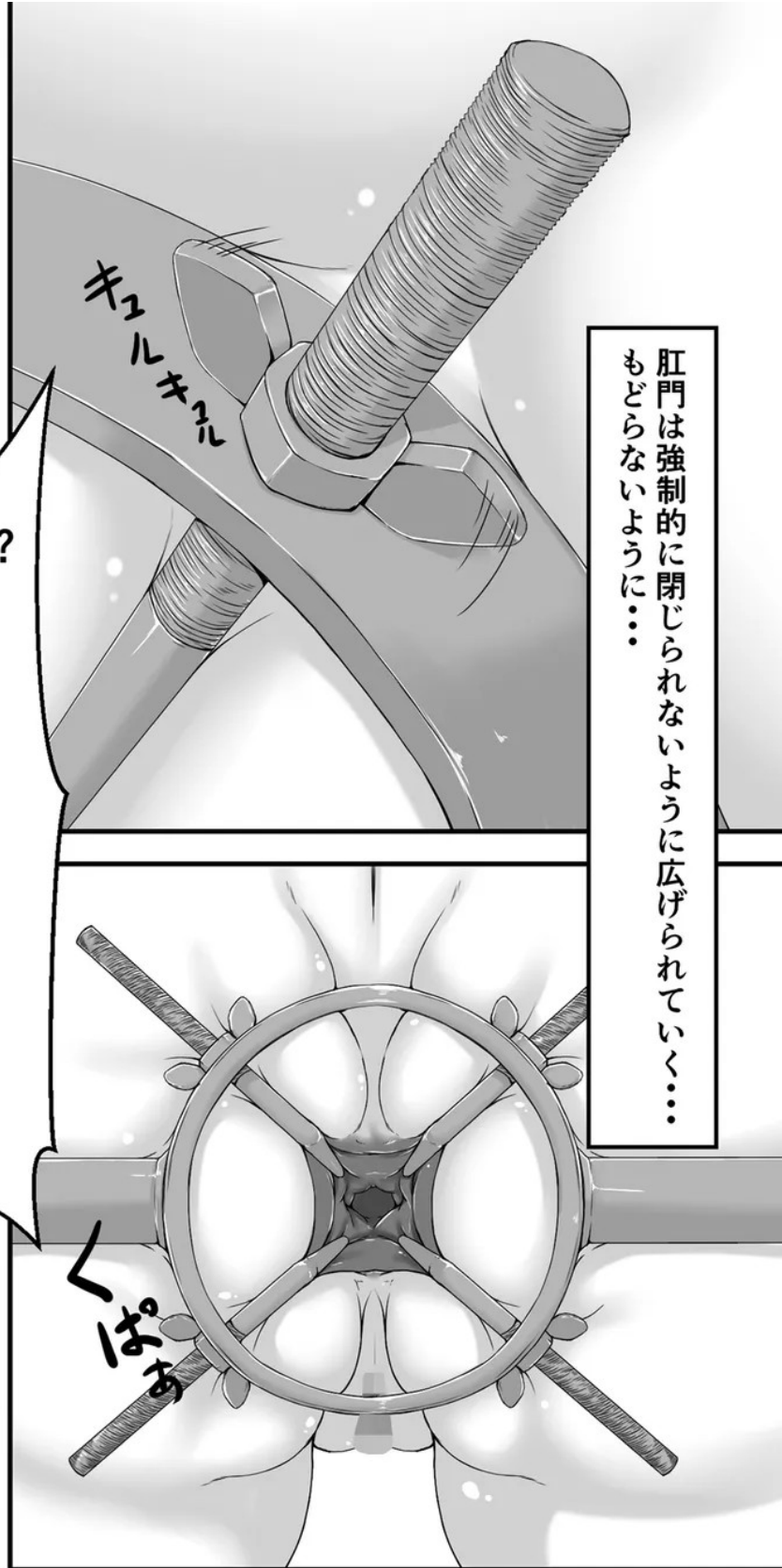
ズ  
ポ  
ポ

ふ  
ぐ  
う  
う  
う  
う  
う  
う

ガ  
キャン



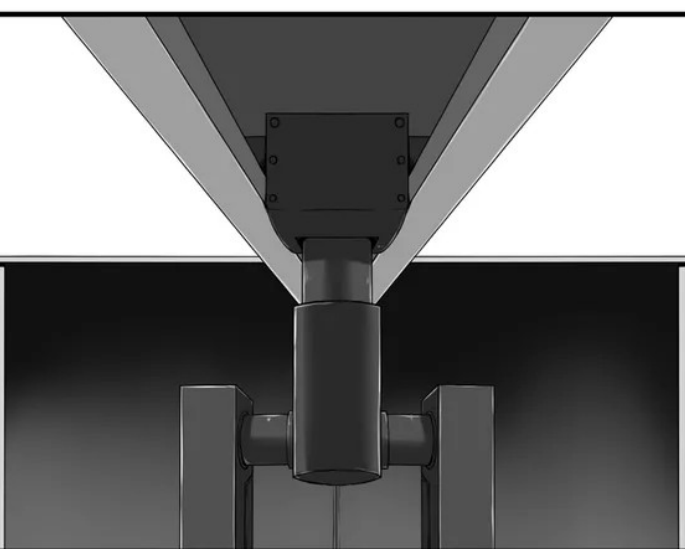
!?  
ふごおり!!んんごおおおおお



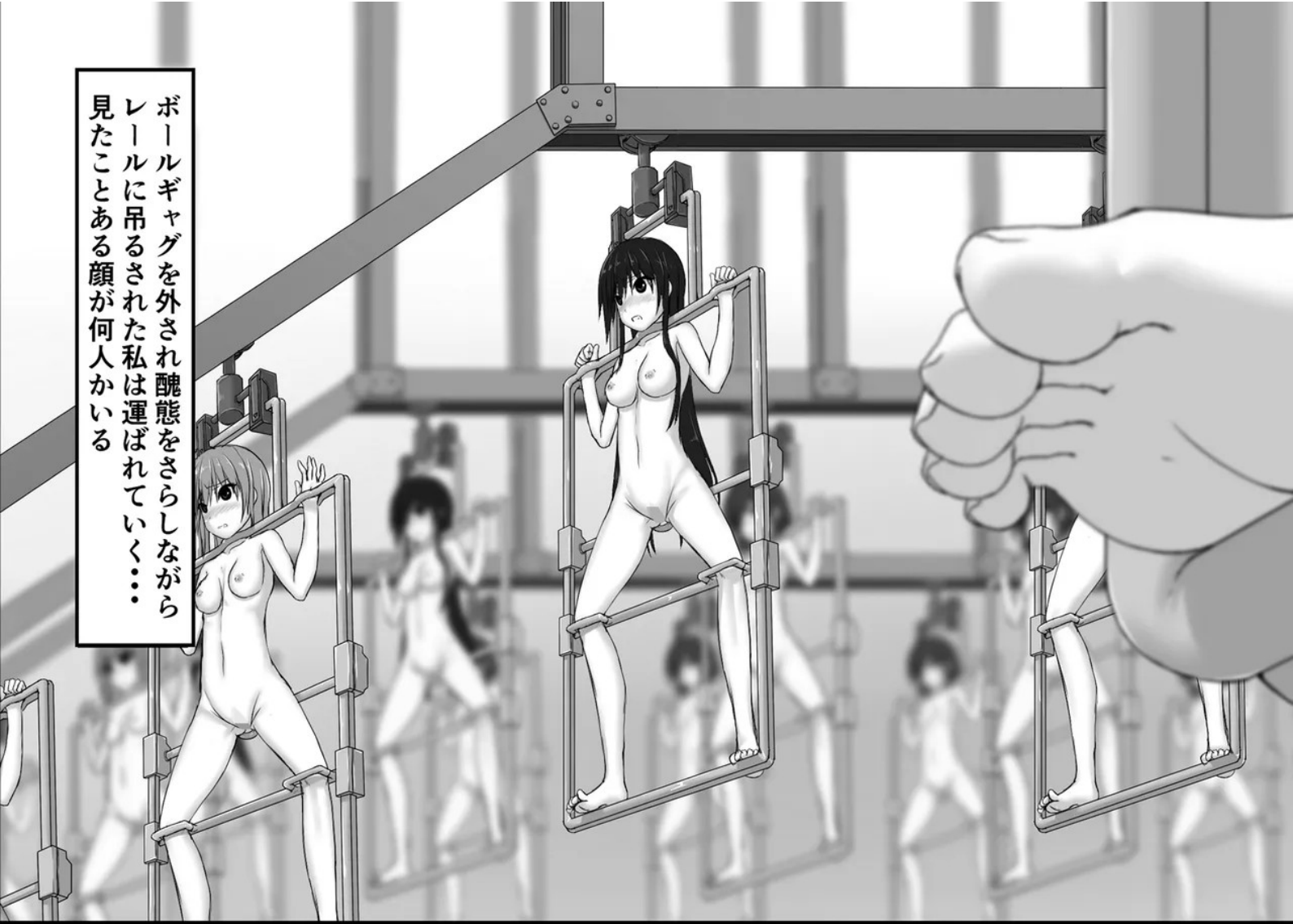
肛門は強制的に閉じられないように広げられていく……  
もどらないように……

くはあ

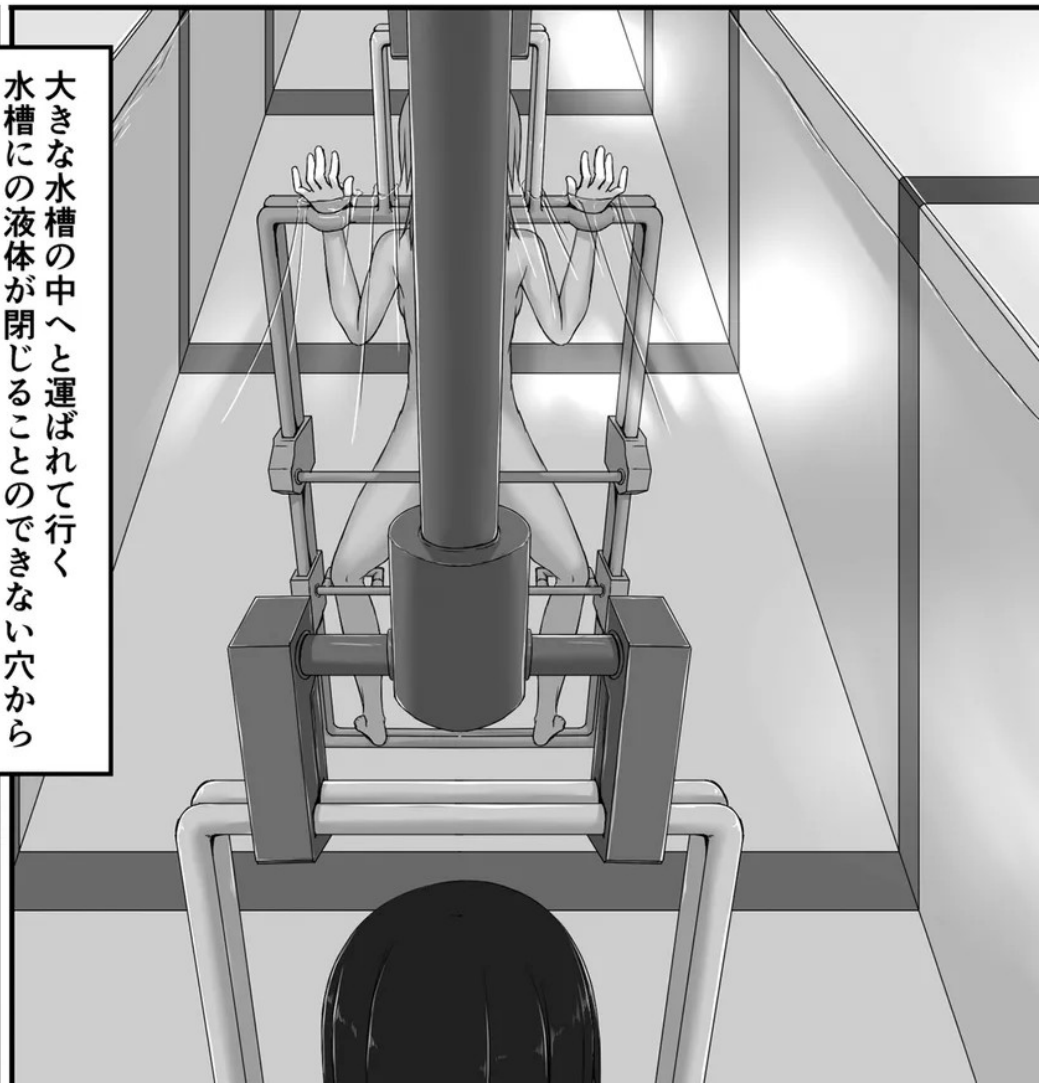
レールの金具に吊るされ  
運ばれていく……  
次は私の番だ



ボールギャグを外され醜態をさらしながら  
レールに吊るされた私は運ばれていく……  
見たことある顔が何人かいる



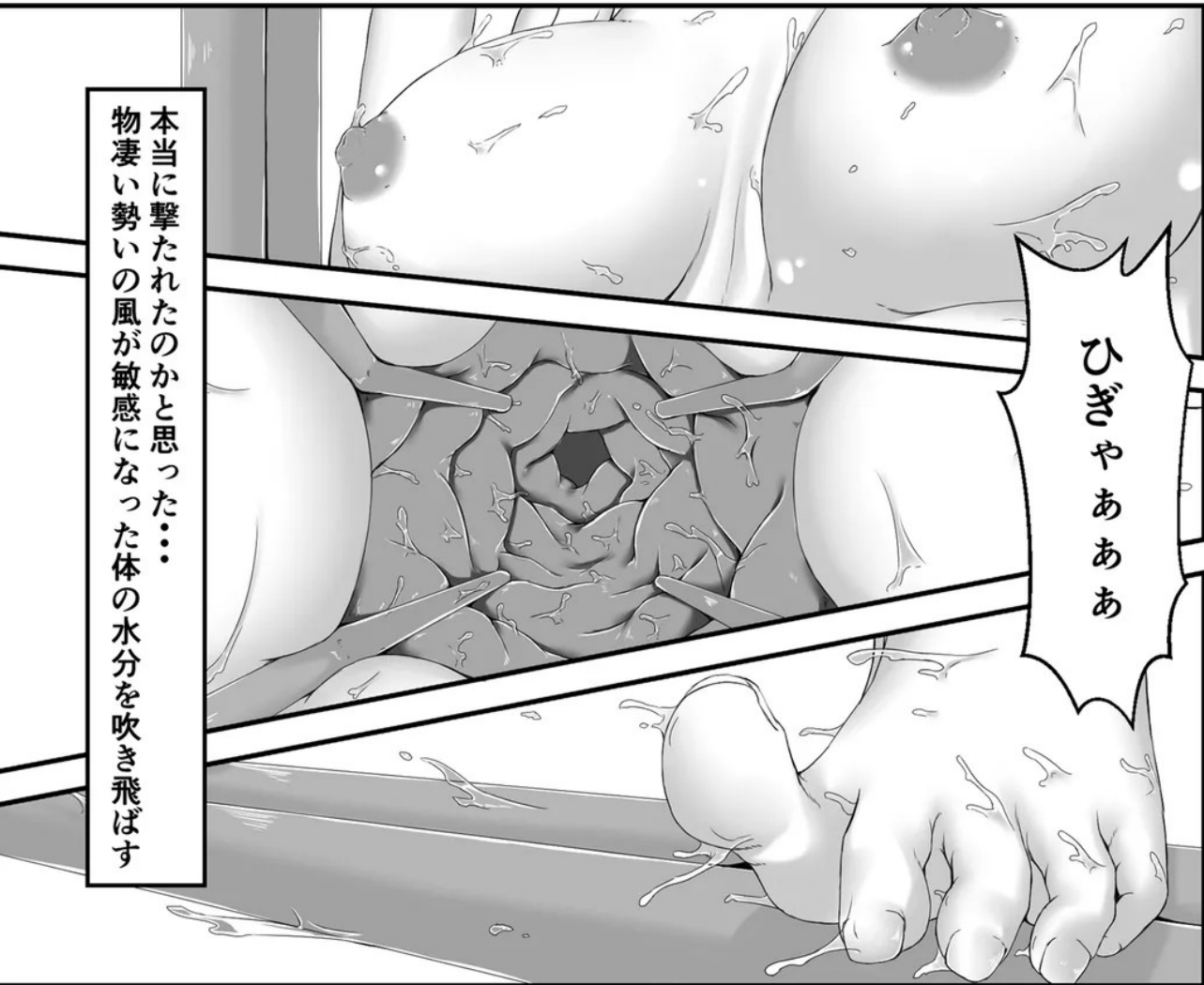
大きな水槽の中へと運ばれて行く  
水槽にの液体が閉じることのできない穴から  
体の中へと侵入してくるの





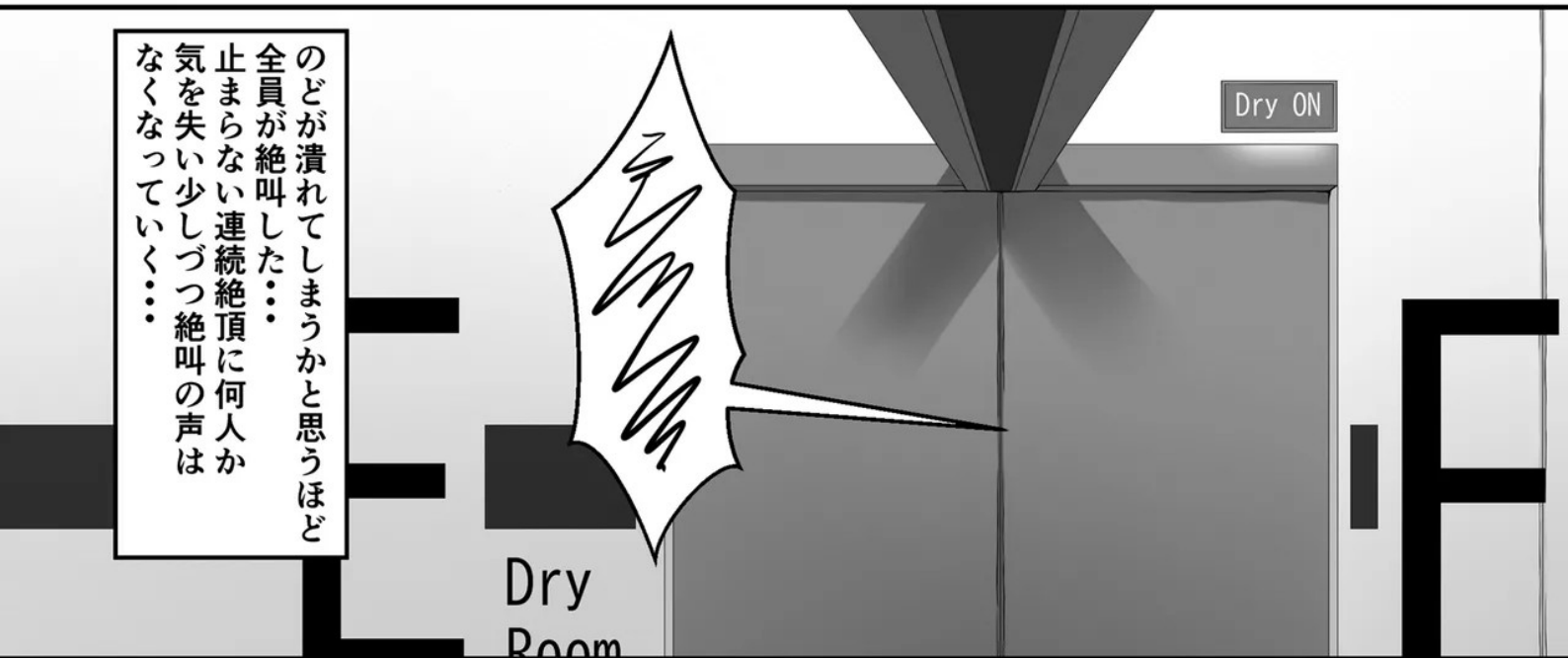


運ばれ入れられた部屋の壁には  
無数の重工のような穴があり  
私たちに狙いを定めている……



ひぎやあああ

本当に撃たれたのかと思った……  
物凄い勢いの風が敏感になった体の水分を吹き飛ばす



Dry ON

Dry Room

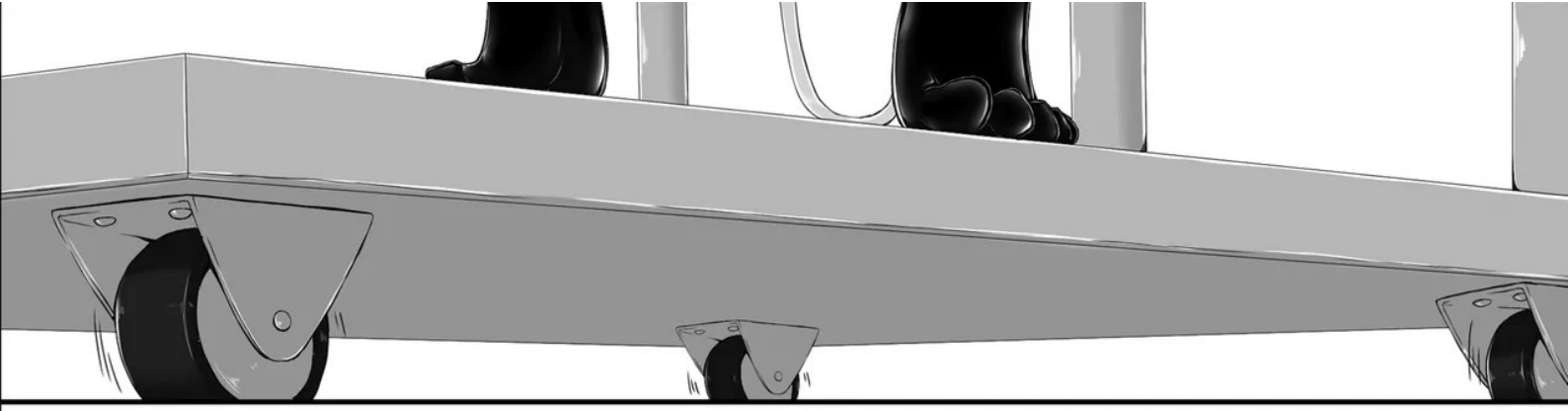
のどが潰れてしまうかと思うほど  
全員が絶叫した……  
止まらない連続絶頂に何人か  
気を失い少しづつ絶叫の声は  
なくなっていく……



さあ・・・  
あなたのライブ衣装換えの時間よ



思い出しただけでまたイってしまった・・・



あれってこの間引退した  
アイドルの子じゃないの？

えっ？ウソ！？ほんとだ！  
あたし握手会  
行ったことあるわよ

この後休憩室で  
展示されるらしいわよ

ほんと!!  
後で触りにいいこーっと

ひどい顔  
元アイドルだってさあ

きゃははは  
ほんと凄いや

ここに来る前から  
かなり開発されてたみたいよ

マジ？  
彼氏いたとか？

自分でみたいよ

ド変態アイドルじゃん

私の周りを研究者たちが取り囲み  
見ている・・・そして待っている  
テレビやネットで輝いていた  
人間が惨めな姿をさらしながら  
絶頂するその時を・・・

も・・・漏れる・・・

気持ちが高揚してる・・・

恥ずかしいのに・・・  
恥ずかしいのに・・・なんで・・・

自分でも驚きだった・・・  
こんな辱めを受けている  
のに私の中にまだアイドル  
としてのプライドが  
残っていた・・・

見られてるのに  
ダメ・・・もう限界・・・

しかしそのプライドは驚異的な排泄感と出した時の快楽と共に流れ出た

んおおおおおおおお

ここへ運ばれる前に入れられた丸いゼリーは運ばれながら浣腸された液体によって何倍もの大きさになって出てきた

まさかアイドルにこんなことできる日が来るなんてねー

この子昨日ここに来たばかりなのに  
お尻ゆるゆるよ

ほらほら  
さっさとイケっ

ここに来る前から自分で  
開発してたなんて裏では変態さんなんだ

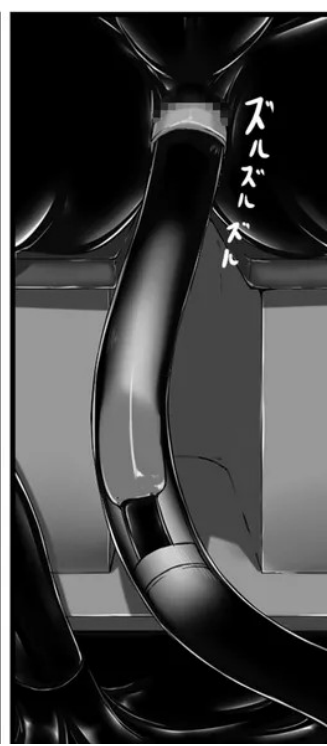
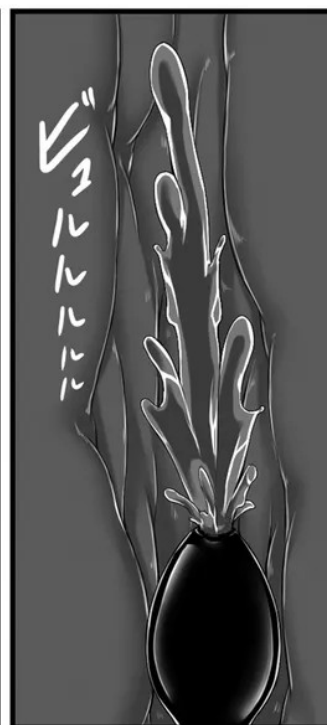
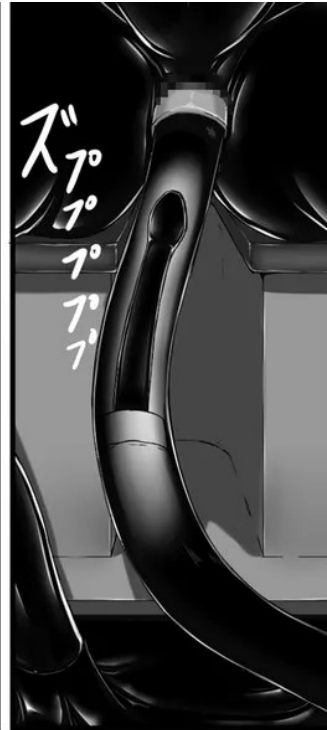
あはは  
またイッたわ



私は見られるのが好き  
もっと……もっと……多くの人に私を見て欲しい  
私のありのままを……私のすべてを！

ンギギギギギギイイイイイ







ふんぎんぎんぎんぎん

見て！  
もっと私を見て！

イグイグイグ  
イグウウウウウウ



失礼します

あの…話って何でしょうか…

レッスン中  
ごめんなさいね  
ふふっ…  
最近調子よさそうね

はい！  
ライブも近いので  
気合い入れて頑張ってます！

何見てるんですか？

ん？  
前いた子のラストライブの映像よ

それって突然引退発表して  
翌日にファンクラブのプレミア会員  
のみで行われたやつですか？

そのライブ…映像はもちろん  
どんな内容なのかも情報が出てこない  
都市伝説みたいなラストライブって…

ええ

見る？

えっ…はい…




なんか……  
すごくセクシーな衣装ですね……



えっ……残ってるんですか……  
……その……着てみたいです



着てみる？



皆さん突然の引退本当にごめんなさい  
私は今日でアイドルを引退します…

今まで応援ありがとうございました  
私は今日で皆さんの中から黒く消えていなくなります…

ここにいる皆さんにお願いがあります！



私と一緒に黒く消えてください



# あとがき

どうもしょーやんです。

久々の同人即売会の参加という事で入稿締め切りを忘れていてかなり駆け足で製作しました。  
なんとか間に合いましたが毎度のことながら荒い仕上がりですみません。  
今回のBeginning black7は主人公がアイドルという注目を集める存在から  
自分は数多くの中の1でしかない事を知りアイドルとして人前に立つ本当の気持ちを知る  
(人に見られることに興奮すること)というのを描いてみました。

軽く解説

アイドルとしての危機(社長の罠)

研究所内を見て実験体となることを決意

しかし最後に引退ライブをしたいとお願い

情報が漏れるわけにはいかないので観客全員拉致実験体へ(最後のオチ)

自分と客をまとめて感度上昇処理

視姦的絶頂が良いため研究員達に晒されたり

VR的な処置を施される

的な感じですか。

わかりにくくてすみません。漫画うまく表現できるように頑張りたいです。

Beginning blackは毎回キャラクターが変わるので実際の人をモデルに描いたら  
面白そうだなと最近思っています。

そんな感じで頑張って今後も描いていくのでまた見ていただけると嬉しいです。

読んでいただきありがとうございます！

DLsite, FANZAにて他作品販売中です！

妄想美術部/しょーやん

Pixiv: id=1305905

Twitter:@puringaoisiyo

発行:妄想美術部

発行者:しょーやん

印刷所:オレンジ工房様

発行日:2021/12/31

*2021/12/31*

妄想美術部